



## 沖縄の生活を新しい言葉で いま読んでほしい傑作エッセイ

2022年は沖縄の日本復帰50年の節目になります。沖縄のこと、そこで暮らすひとのことを知りたいと思ったとき、まず手に取っていただきたいです。「Yahoo! ニュース | 本屋大賞 2021年ノンフィクション本大賞2021」ほか多数の賞を獲得した一冊。

**海をあげる** 上間陽子:著 筑摩書房  
四六判並製 256頁 2020年刊 ISBN:9784480815583 1,760円



## 普遍的価値の罫を明らかにし、 〈開かれた社会〉の真相に迫る

社会システムは「同一性」と「変化」に支えられている。だが、この二つは本来両立しない。社会心理学はこの矛盾に対し、どのような解決を試みてきたのか——。強靱な論理とともに我々の常識を次々に覆し、「人間とは何か」という問いを読む者に深く刻み込むロングセラー。

**社会心理学講義——〈閉ざされた社会〉と〈開かれた社会〉**  
小坂井敏晶:著 筑摩書房  
四六判並製 416頁 2013年刊 ISBN:9784480015761 2,090円



## 古今東西の哲学がわかる 画期的な知の集大成

古代から現代までの世界の知の流れを「世界哲学」としてとらえ、各地の哲学の相互影響を見据えつつ考察する全9巻シリーズ。115名の研究者が最前線の成果を持ち寄り、一般読者向けに徹底解説。初学者にもわかりやすく、学び直しにも最適な、美麗函入セット。

**世界哲学史 全8巻+別巻セット**  
伊藤邦武、山内志朗、中島隆博、納富信留:責任編集 筑摩書房  
新書判 288~320頁 2020年刊 ISBN:9784480072900 9,361円

\* 価格は10%税込です

## 受賞出版社紹介

### 第37回梓会出版文化賞

#### 筑摩書房

創業1940年。「世界哲学史」は昨年の80周年記念企画のうちのひとつです。創業当初は文芸中心、戦後は文学全集を多く刊行。いまは文庫、新書といったペーパーバックを中心に年300点ほど刊行しています。ジャンルにこだわらず、いま世界に必要なものを出すのが基本です。



### 第37回梓会出版文化賞特別賞

#### 現代書館

小社は、1967年7月1日に、反権力・反差別の志を胸に創業されました。現在、福祉・教育・フェミニズム・社会問題・思想など出版分野は多岐にわたりますが、今後も創業時の原点「知識を専門家だけに独占させず、分かりやすく伝える」に留意して出版活動に取り組んでまいります。



#### 文一総合出版

1976年設立。昭和60年頃から自然生物に関する書籍と雑誌を出版。新書サイズの「ハンドブック」シリーズから大型図鑑『日本産カエル大鑑』まで、独自性の高い図鑑や日本生態学会などの編集による専門書も発行。自然を守り生物多様性を維持することの大切さを伝えていきます。



### 第18回出版梓会新聞社学芸文化賞

#### 共和国

2014年、「世界を書物でロマン化します」をモットーに創業。事務所なし、社員なしのいわゆる「ひとり出版社」です。既刊64点。人文、文学、自然科学からコミックまでジャンルを問わず、書物にこだわり、「社会批判」としての出版活動を続けてゆきたいと考えています。



# 梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

「第37回梓会出版文化賞」、  
「第18回出版梓会新聞社学芸文化賞」  
が決まりました！  
この賞は優れた出版活動を行っている  
“出版社”を顕彰するユニークな賞です。

この号では受賞社の紹介と  
各社イチオシの近著をご紹介します。  
賞の詳細は、梓会HPまで。



**番外編  
2022**

出版梓会  
データダウンロードはこちら⇒





## 差別の現実と思想に抗する 最初の1冊としておすすめ。

社会を覆い尽くそうとするレイシズムなどの差別を、私たちはどう考え、対抗すれば良いのか。21名の気鋭の研究者が、ネット右翼、戸籍と国籍、朝鮮人差別、政治学などさまざまな立場からアプローチし、この現実性に楔を打ち込む。ブックガイドも付す。

**レイシズムを考える** 清原悠：編 共和国  
菊変型並製 440頁 2021年刊 ISBN:9784907986384 3,300円



## いま話題の哲学者と 世界を読みとく連続講座

ますます複雑化する現代社会の多様な問題に、私たちはどう向き合えば良いのか。明晰な読解で知られる哲学者と一緒に考えるための連続講座、全3巻のうちの第1巻目。本巻には「新型コロナと全体主義」「哲学とは何か」「国家」「独裁」の4篇を収録。

**哲学JAM【赤版】**——現代社会をときほぐす  
仲正昌樹：著 共和国  
四六判並製 200頁 2021年刊 ISBN:9784907986780 2,200円



## 震災復興後の東京の姿を暴く 稀代の作家の底辺文学を集成。

不良住宅、工場街、そして貧困が、都心から周縁部へと蔓延してゆく1930年代の東京。やがて戦争へと突入するこの時代に、都市はどのように変貌したのか。ファシズムと対決した作家、武田麟太郎の「底辺文学」を1冊に収録。詳細な解説に図版多数を加える。

**蔓延する東京——都市底辺作品集** 武田麟太郎：著 共和国  
A5変型並製 400頁 2021年刊 ISBN:9784907986773 3,850円



## 巣だけでクモが見分けられる！ 身近な自然がより楽しくなる本

巣を見て、どのクモがつくったかわかれば良いのに。自然愛好家のそんな声に応えたハンディ図鑑です。日本産約150種の多様な形の巣を、74パターン別に配列した見比べやすい構成。野外ではなかなか見られない巣を使った狩りの様子もイラストで紹介。生活の仕方にも興味が広がります。

**クモの巣ハンドブック**  
馬場友希・鈴木佑弥・谷川明男：著 文一総合出版  
新書判 112頁 2021年刊 ISBN:9784829981689 1,650円



## 羽根を1枚拾った。どの鳥の どこから落ちたかわかるの？

人々を魅了する鳥の羽根。その美しさを顕微鏡レベルで堪能できる画期的な羽根図鑑。日本産のほぼ全科の特徴を示した図鑑に加え部位や特徴別にまとめた検索表を収録。1枚の羽根から「持ち主」を特定する方法を徹底解説した羽根観察マニュアルの決定版。

**羽根識別マニュアル** 藤井幹：著 文一総合出版  
B5判並製 224頁 2020年刊 ISBN:9784829975114 3,960円



## 粒粒辛苦の研究で解明！ わさびが秘める歴史ミステリ

山奥に生え、主食にもならず、さらに栽培もむずかしい。そんなわさびの栽培を、どこのだれが、何を思っではじめたのだろう？その解明に情熱を傾ける生物学者が、DNAから古典籍までを渉猟。見えてきた実像を、年表とともに紹介するスリリングな科学読み物。辻静雄食文化賞受賞作。

**わさびの日本史** 山根京子：著 文一総合出版  
四六判並製 272頁 2020年刊 ISBN:9784829972335 2,750円



## 「役に立て」といわれる社会で 「ただそこにいる」価値を問う

福島原発事故を経験したライターが、ユニークな障害福祉施設に一年かけて通った記録。被災地も障害者福祉も、困難な現場ほど孤立してしまう。障害のある生が「ただそこにいる」価値を認め、地域に開いてつながることから始まる、みずみずしい希望の物語。

**ただ、そこにいる人たち——小松理虔さん「表現未満、」の旅**  
小松理虔、認定NPO法人クリエイティブ・スペース・トラップ：著 現代書館  
四六判並製 288頁 2020年刊 ISBN:9784768435830 1,980円



## 思想は自由！ぼくたちの考えは だれにも奪えない

「戦争に勝ったら何がもらえるの？」「どうして、2+2=4なの？」「神さまは男、それとも女？」。『すてきな三にんぐみ』でおなじみの絵本作家が悩める子どもにアドバイス！だれもが自由になれる、ユーモアと風刺がこめられたイラストたっぷりの人生処方箋です。

**どうして、わたしはわたしの？**——トミ・ウンゲラーのすてきな人生哲学  
トミ・ウンゲラー：著・イラスト アトランさやか：訳 現代書館  
B5変型上製 160頁 2021年刊 ISBN:9784768458952 2,750円



## 身近な生き物を見る目が変わる 新感覚の短編小説集

闘魚、ゴキブリ、猫、菌類、蛇。人とともに暮らす生き物たちが、だんだんと人間との境界を侵犯していき、じわじわと人間関係そのものを変容させていく。つねに不穏でありながら、クセになる読み心地に中毒者続出。メキシコの新鋭作家による新感覚の短編小説集。

**赤い魚の夫婦**  
グアダルーペ・ネッテル：著 宇野和美：訳 現代書館  
四六判上製 160頁 2021年刊 ISBN:9784768459058 2,200円



日本の出版社数約3300社中1700社は10人以下。1人出版社も増えています。版元は黒幕黒子、縁の下の力持ち。でもほめてもらえるなら元気100倍！